

事例: 静岡県立下田高等学校

地域への愛着を育む、 「教育現場 × 地場産業」スタディツアー

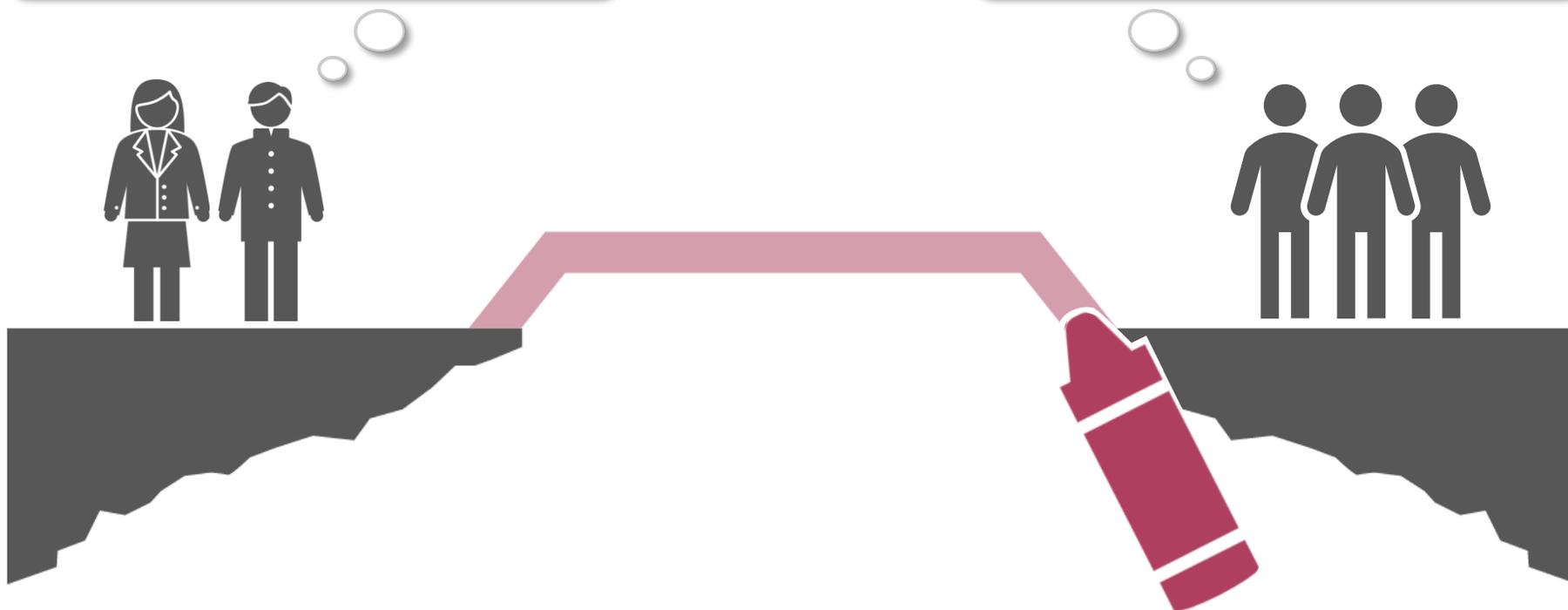
2023年1月5日



「地域の魅力を深く知りたい」高校生と、
「若者に地場産業をより詳しく知ってほしい」地域の人々の、接点を創出
スタディツアーの目的

自分たちが学び・暮らす、下田市の
産業と歴史を、しっかり語れるよう
になりたい...

若者たちが、生まれ育った下田市を
離れても、またいつか戻ってこれる
関係性を築きたい...



地域の事業者と連携し、学生向けに4つの体験プログラムをアレンジ 開催場所と実施コース概要



① 着物で制作コース

伝統の着物文化を学びながら、
着付けとアクセサリー作りを体験

② 下田街歩きコース

歴史ある街中を散策しつつ、
老舗和菓子屋でどら焼きづくり体験

③ 開国トラベルコース

開国から受け継がれる歴史・文化
を、芸者遊びと和紅茶で体験

④ 須崎の恵みコース

昔の下田を知る、地元育ちの
元漁師から学ぶ干物開き体験

① 着物で制作コース



- 日本の伝統文化である着物について学びながら着付け
- 併せて、着物に似合うヘアアクセサリー作りを体験
- ホストとして迎え入れてくれたのは、地域に長年愛される美容室
- 同美容室では、着物で楽しめるイベントも随時、実施

② 下田街歩きコース



- 観光業で栄える
下田では、お土産
として和菓子も人気
- 和菓子屋が並ぶ
下田を街歩きガイドと
歩いた後に、
- 大正時代から続く
老舗和菓子屋で、
地元素材を使った
どら焼きづくりを体験

3 開国トラベルコース



- 「開国の地」下田には、日本のティータイムに新しい風を吹き込んだ紅茶文化や、
- 港に集まる役人 / 商人をもてなした下田芸者が今も健在
- そんな開国の時代から受け継がれている文化と歴史を学習

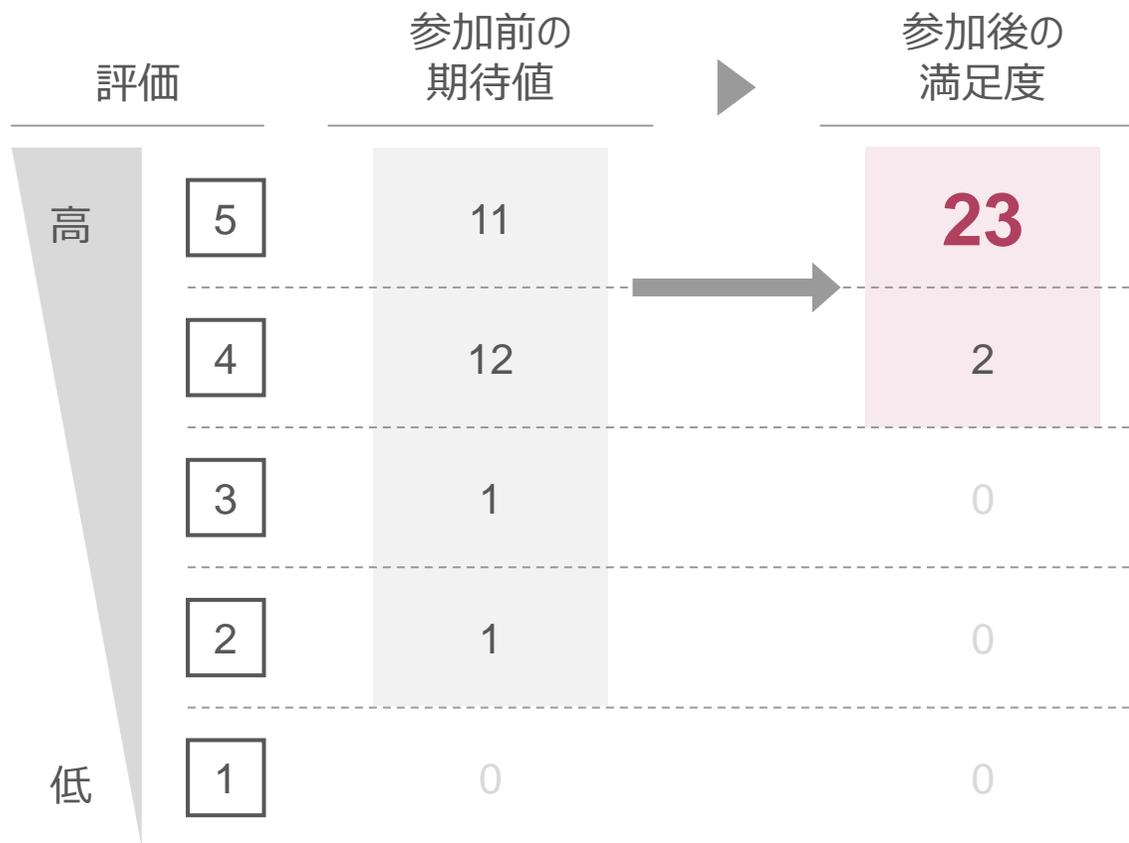
4 須崎の恵みコース



- 昔の下田を知る、地元育ちの元漁師から学ぶ干物開き体験
- 職人技を堪能した後は、ジオサイトの恵比寿島へ
- 地元の食材を活かしたランチを食べながら、下田の食文化と歴史を学習

参加した高校生たちは、人とのつながり / 郷土愛への気づきを経て、スタディツアーのプログラムを高く評価

スタディツアーに参加した高校生たちの変化 (1/2)



- 干物を開く体験だけでなく、伊豆半島ジオパークについても学べて、地域の将来について考えるきっかけができた
- 町歩きで改めて下田の良さを知り、地域の温かさに1日を通じて触れることができた



更に、高校生たちからは、交流を通じて、 地域との関りを深めていく意欲が醸成された、とのフィードバックも スタディツアーに参加した高校生たちの変化 (2/2)

“

- 下田には、代々受け継がれてきたコトやモノがたくさんあって、途切れないように何か協力したい
- 自分たちのような高校生に大切な魚を扱わせてくれて、地域の人々の温かさを感じた; 自分が大人になったとき、こういう人になりたいと思った
- 友達とか親に学んだことを話し、どうやって下田を盛り上げるかなど考えるきっかけを作りたい
- 大人たちが頑張っていて地域のために行動しているので、僕たちはどんどん意見を出し合い、考えを伝えていくことが大切で、それがより良い地域づくりにつながるのかな、と思う





— 答えを創る会社 —